



ツタの絡まる図書館展

う ち で

芦屋市立図書館打出分室

(旧松山家住宅松濤館)

場所 市立小樽図書館 (TEL0134-22-7726) 2階ギャラリー

会期 令和5年(2023年) 8月1日(火)～8月31日(木)

村上春樹『風の歌を聴け』、小川洋子『ミーナの行進』の舞台となった兵庫県芦屋市。ツタの絡まる図書館の連携展示として、外観写真のほか、近代建築紹介パンフレットや、歴史文化遺産と豊かな自然を満喫できる国際文化住宅都市「芦屋」の観光案内などをご紹介します。



昭和 29 年

芦屋市立図書館打出分室は、明治中期から末期に銀行の社屋として大阪市内に建てられ、昭和5年、芦屋市の実業家、松山與兵衛氏が購入し、「松濤館（しょうとうかん）」（美術品収蔵庫）として現在地に移築。

その後、芦屋市が購入し、昭和 29 年、芦屋市立図書館として開館しました。

昭和 62 年、新図書館が開館したため、一旦、休館となりましたが、平成2年には、住民の要望により、芦屋市立図書館打出分室として開室しました。

外観は、重厚なルスティカ仕上げの花崗岩を積み、縦長のアーチ窓を持っています。

また、「松濤」の文字をデザインした扉、内側にはロマネスク調の木製飾り柱等があり、地域のシンボリック存在の建築物となっています。

※打出分室は、隣接する打出教育文化センターの改修工事に伴い、令和5年9月1日から令和6年3月31日まで休室となります。